



報道発表

平成 29 年 7 月 25 日

イノベーション京都 2016 投資事業有限責任組合の投資について

京都大学イノベーションキャピタル株式会社（以下「京都 iCAP」）（本社：京都市左京区、代表取締役：室田 浩司）を無限責任組合員とするイノベーション京都 2016 投資事業有限責任組合（以下「KYOTO-iCAP1 号ファンド」）は、京都大学の研究成果を活用するベンチャー企業である株式会社幹細胞&デバイス研究所（以下「SCAD」）（本社：京都市下京区、代表取締役：加藤 謙介）に対する投資を実行いたしました。

○SCAD への投資実行について

SCAD は京都大学物質 - 細胞統合システム拠点（以下「iCeMS」）の設立拠点長である中辻憲夫名誉教授他が開発したヒト iPS 細胞由来の心筋細胞等を分化誘導する技術とナノファイバー等のデバイス技術を融合させて、これらの細胞を成熟化・高機能化させることによりドラッグスクリーニング用途向けの細胞デバイスを開発・販売する企業です。創薬プロセスの心毒性評価においてはヒト iPS 細胞由来心筋細胞を用いることについて日米欧を中心に国際標準化への議論が活発化しています。独自のアプローチにより高い機能性と安定性を併せ持つ高品質な細胞製品のグローバルな提供を目指す SCAD は、ヒト iPS 細胞由来の細胞製品を本格的な産業応用へと繋げる先導的な企業となることが期待されています。SCAD は、今回の第三者割当増資により、細胞製品の更なる高機能化、品質安定化、大量生産への取り組みを計画しています。

今般、京都 iCAP は、2016 年 6 月 15 日に行われたシリーズ A 第三者割当増資に引き続き、SCAD の総額約 3.5 億円のシリーズ B 第三者割当増資に、ニッセイ・キャピタル株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役：有馬 英二）および SMBC ベンチャーキャピタル株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役：石橋 達史）とともに応じ、リードインベスターとして約 1.6 億円の投資を実行いたしました。



株式会社幹細胞&デバイス研究所 会社概要

設立 平成 26 年 5 月
事業内容 創薬スクリーニング用の細胞デバイスの開発・販売
本社所在地 京都市下京区
代表取締役 加藤 謙介

○京都大学イノベーションキャピタル株式会社（京都 iCAP）について

京都 iCAP は、京都大学に属する研究者による知（研究成果・技術等を含む）を事業化することを目的とする企業（共同研究企業からのカーブアウトを含む）へ、投資その他の支援を行うことを目的に、平成 26 年 12 月に国立大学法人京都大学の 100%出資子会社として設立されました。当社は、平成 28 年 1 月に京都大学及び民間金融機関からの出資を受け、当社を無限責任組合員とする 160 億円の KYOTO-iCAP1 号ファンドを組成いたしました。

当社では、基礎研究に強みを持つ京都大学の研究成果を基に、その実用化を志向する大学発ベンチャーに対して、期間 15 年のファンド運用期間を活かして、シード・アーリーステージの段階から長期に亘る支援・出資を行ってまいります。

【お問い合わせ先】

京都大学イノベーションキャピタル株式会社
〒606-8317 京都市左京区吉田本町 36 番地 1
京都大学国際科学イノベーション棟東館 4 階
投資部：楠美公 管理部：寺坂憲二
TEL：075-753-5303 FAX：075-753-7592
E-mail：info@kyoto-unicap.co.jp